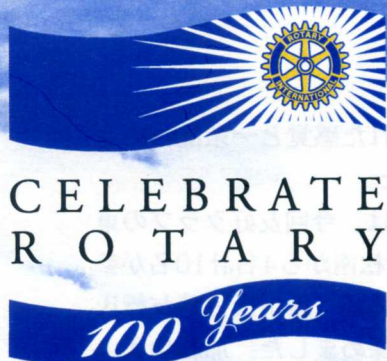




ロータリーを祝おう

2004-05年度 RI会長
グレン・エステス・シニア

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後12:30～1:30
例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡
事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375



会長 斎藤 昭
幹事 佐藤 孝子

第2270回 例会会報 平成17年5月31日(火) 晴(本年度 第42回)

ゲストスピーチ⑭

近 況 報 告

出羽庄内国際交流財団 楊 詠麗氏

皆さんこんにちは。七年ぶりにお邪魔しましたので、これまでの御報告を兼ねてお話しさせていただきます。この会場に入っ

びびっくりしたのは初めてお目にかかる方が大勢いらっしゃいます。私の想像ではほとんどの人は分かると思っていました。新しい会員が一杯増えたのかなと嬉しく感じました。

私は元米山奨学生で皆さんからは大変お世話になりました。実は12年前の6月から向こう(中国)の大学の派遣学生として来日しました。最初は北大農学部で一年間勉強しました。生活費は派遣学生なので支給されていました。一年たって専門課程の勉強をするために山形大学農学部に移りました。今度は私費留学生として94年には博士課程に入り、98年9月博士号をとり、今は出羽庄内国際交流財団に務めています。

私がロータリーと出会ったのは博士課程2年生の時でした。95年4月から97年2月まで米山奨学生として、97年4月から9月までクラブ米山奨学生として大変お世話になりました。奨学金を戴くだけでなく、世話クラブである鶴岡RCの例会に毎月参加させていただき、例会を通して色々な話が聞けて、たくさんのことを学びました。ロータリーの理想、ロータリーの奉仕なども学ぶことができました。これは自分にとって得ることが多かったと思います。家族会のイベントなどでは私の家族までも招待してもらいとても楽しい時間を過ごすことができました。それから私が一番ロータリーに感謝したいのは主人と息子が日本に來られて、3年間別れていた家族

が日本で一緒に暮らせるようになったことです。今でも、いつでも感謝しております。奨学金がなければ、自分が生活できるかできないかというよりも、日本の入管制度によって許可がありません。奨学金がなければ日本に来ることはできないので本当にありがたく思っています。今は主人も博士号をとって就職しました。息子は4月から高校一年生になりました。将来日本の大学に行って大きな夢を持っているようです。実現するかどうかは分かりませんが、親として応援してあげたいと思っています。

あと二ヶ月で日本に来て丸13年になります。自分の故郷ハルビンもだいぶ変わりました。最近では5年前に帰りました。建物と道路あちこちで建設しておりました。それは発展のしるしだと思います。市場でも商品の種類が豊富になりました。お金あれば何でも買えます。南からの珍しいくだのものもあります。昔は日本のストッキングをお土産に持っていくと喜ばれましたが今は状況が変わりました。

テレビで反日の日本商品不買を言っていました。正直に言うと日本の商品の品質がいいのは皆が認めていることなのです。全部は分かりませんが、サラリーマンの生活から見れば、私が来る時は、月給が人民元で300元前後、5年前に帰ったときは人民元で1,000元になりました。3倍以上になりました。今現在電話で聞いたら3,000元になりましたので又3倍になりました。中国経済が発展しているのは事実だと思います。しかし、発展の差が大きい。貧富の差も出てきました。都市と田舎の差もあり、今後中国がどうなるのか心配もあります。生活改善できない人が増えると何か起こる可能性はあります。いずれにしても生活水準が上がったのは事実です。

出席は クラブの活力	本日 の 出席	会員数	45人	前々 回の 出席	出席率	64.26%
		出席数	27人		修正出席数	34人
		出席率	64.29%		確定出席数	80.95%

私は4年前から国際村で働いています。担当は国際交流員として在留外国人の支援が中心になっています。その中で一番関わっているのは生活相談です。その場合、日本でのこれまでの生活体験が役立ちます。日本の文化や日本人の考え方が分からないといろんなトラブルになります。在留外国人で一番多いのは研究生たちで二番目が国際結婚で日本に来た女性です。中国人の女性と日本人の男性が結婚して一緒に生活する時に、文化や習慣の違い、言葉の問題でトラブルや誤解が生じます。ちょっとしたことなのに、話せないと次第に大きな問題になることがあります。そんな時、私が通訳したり説明したりして改善したこともあります。中国から来たお嫁さんが交通事故に合い、病院や保険会社との間で問題が起きたことがありました。いろいろ奔走し解決できた時、その方から自分は日本に来てずっとあやふやでいた。半分わかって半分分からない事ばかりだった。今回初めてすっきり出来たといわれた時、自分の仕事が人の役にたつかなと嬉しく思いました。これもロータリーから学んだ奉仕の精神で少しの恩返しだと思っています。日本人の友だちから恩返しというのは受けた人じゃない人に返すのも恩返しと言うんだよといわれ成程と思いました。私は皆様に直接恩返しすることは不可能です。こんな形でお役に立てれば皆様への恩返しになるかなと思っています。専門は違いますが今国際村で充実した毎日を送っております。皆様に感謝をこめて御報告とさせていただきます。

会 長 報 告

斎 藤 昭

21日(土) グランド・エサンにおいてRID2800ローターアクト第14回地区大会が地区内外のローターアクター、ロータリアン多数の出席のもと開催されました。小野寺志津香地区代表の言葉に続き、スポンサークラブである鶴岡RC歓迎の言葉、鶴岡市長、藤川地区新世代カウンセラー、池田新世代委員長各氏の祝辞があり、記念式典が盛大に行われました。奉仕を通して感動的な出会いがあったと思います。

22日(日)には農村センターにて、ローターアクター、ロータリアンのほかに消防関係者、一般市民約300名が参加、「新潟県中越地震における災害活動について」と題して東京消防庁第八消防方面本部救助機動隊海老沢隊長の講演がありました。VTRでハイパーレスキューの紹介後、長岡市土砂崩れ現場で、ワゴン車に閉じ込められた親子三人の救助について話されました。奇跡的に男の子を救出できたの

は生身の人間の研ぎ澄まされた感覚と一糸乱れぬ連携であったということでした。

24日(火) 孟宗汁例会では、今回友好クラブの東京東江戸川から6名、会津若松南から4名計10名が参加くだされ、孟宗汁、庄内銘酒(藤川氏佐藤友行氏御提供)に堪能され交流を深めました。加藤功氏より友好クラブ参加者に孟宗の缶詰が贈られました。感謝申し上げます。

委 員 会 報 告

出席委員会

委員長 本間昭吉君

○メイクアップをされた方

藤川君 塚原君 加藤功君 丸山君 嶺岸君
三浦君 斎藤君 佐々木君 若生君 富樫君
須田君 佐藤孝子君 佐藤友行君

○ゲスト

伊藤巳規男PG(大江ロータリークラブ)
楊 詠麗さん(出羽庄内国際交流財団)

スマイル

伊藤巳規男君 例会出席させていただきました。
佐藤 孝子君 伊藤パスト、楊さんありがとう。
藤川 享胤君 伊藤PG、楊さん、ゴルフ大会優勝。
斎藤 昭君 伊藤パスト、楊さんありがとう。
富田喜美子君 楊さんの頑張りに感動しました。
上野 欣一君 家内と共に写真を載せて頂いて。
富樫 松夫君 美咲保育園に給食システム導入。

人間力を高めよう!

伊藤巳規男パストガバナー

私は今年度当地区職業奉仕委員会のカウンセラーということで機会ある度にお話しております。安孫子年度に15時間かけて職業奉仕カレンダーを作りました。今見て厳しいかなと思いますが、1989年職業奉仕の声明を出された以降の物です。現在と変更はないわけです。職業原理を踏まえた職業奉仕の実践ということで、活用して頂ければありがたいと思います。

近年職業奉仕を軽視する傾向があると言われております。職業奉仕における奉仕とは専門職及び実業人は倫理と信用に裏付けされた行動によって始めて自己と多くの人々に利益と信頼が持たされるものであると言われております。例会や諸会合で自己の意識を高め、奉仕の意識を高めて、そして奉仕の心が奉仕の実践となるように職業人として我々は心がけていかなければなりません。要は人間を高めていかなければならないと思います。倫理を高めていくと言うことが今日求められているのではないのでしょうか。

